

## 高知大学moodle2016利用状況レポート

大学連携 e-Learning 教育支援センター四国高知大学分室

高知大学は、『四国における e-Knowledge を基盤とした大学間連携による大学教育の共同実施(知プラ e)事業』に参加しており、LMS(Learning Management System)として moodle を導入しています。本レポートで、2016 年度(2016 年 4 月 1 日～2017 年 3 月 31 日)の moodle 利用状況を報告します。

### 1. コースの利用状況

表 1 に 2016 年度の moodle 上で公開されたコースについて報告します。また、比較のため、2015年度の状況を表2にまとめて示します。

表 1 学部等別の科目の moodle 利用率・登録ユーザの利用率

2016年度	moodle準備科目数*	moodle利用科目数*	moodle利用率	利用科目への登録ユーザ数*	科目にアクセスしたユーザ数*	登録ユーザの利用率
共通教育科目	591	18	3.0%	960	604	62.9%
人文社会科学部／ 人文学部専門科目	548	0	0.0%	0	0	---
教育学部専門科目	1225	1	0.1%	141	75	53.2%
医学部専門科目	304	4	1.3%	483	446	92.3%
理学部専門科目	377	24	6.4%	864	643	74.4%
農林海洋科学部専門科目／ 農学部専門科目	532	4	0.8%	289	206	71.3%
土佐さきがけプログラム 専門科目	98	11	11.2%	183	83	45.4%
地域協働学部専門 科目	55	0	0.0%	0	0	---
全学開設科目	8	0	0.0%	0	0	---
土佐さきがけプログラ ム(修士課程 大学院 科目)	10	0	0.0%	0	0	---
人文社会科学専攻 (修士課程 大学院 科目)	44	0	0.0%	0	0	---
教育学専攻(修士 課程 大学院科目)	392	0	0.0%	0	0	---
医科学専攻(修士 課程 大学院科目)	104	0	0.0%	0	0	---
医学専攻(博士課 程 大学院科目)	329	1	0.3%	5	0	0.0%
看護学専攻(修士 課程 大学院科目)	64	0	0.0%	0	0	---
理学専攻(修士課 程 大学院科目)	409	3	0.7%	21	21	100.0%
応用自然科学専攻 (博士課程 大学院 科目)	213	0	0.0%	0	0	---
農学専攻(修士課 程 大学院科目)	943	0	0.0%	0	0	---
黒潮圏総合科学専 攻(博士課程 大学 院科目)	86	0	0.0%	0	0	---
その他(修士課程 大学院科目)	29	0	0.0%	0	0	---
その他(博士課程 大学院科目)	0	0	---	0	0	---
オープンコンテンツ	4	4	100.0%	20	20	100.0%
全学生・教職員用	4	3	75.0%	116	109	94.0%
その他	16	11	68.8%	1020	725	71.1%
合計	6369	73	1.1%	3082	2207	71.6%

表 2 学部等別の科目の moodle 利用率・登録ユーザの利用率(2015年度)

2015年度	moodle準備科目数*	moodle利用科目数*	moodle利用率	利用科目への登録ユーザ数*	科目にアクセスしたユーザ数*	登録ユーザの利用率
共通教育初年次科 目	163	4	2.5%	253	227	89.7%
共通教育教養科目	271	2	0.7%	293	139	47.4%
共通教育共通専門 科目	183	6	3.3%	364	282	77.5%

共通教育日本語科目	4	0	0.0%	0	0	---
共通教育日本事情に関する科目	7	0	0.0%	0	0	---
人文学部専門科目	513	0	0.0%	0	0	---
教育学部専門科目	1150	0	0.0%	0	0	---
医学部専門科目	284	1	0.3%	19	14	73.7%
理学部専門科目	331	11	3.3%	415	270	65.1%
農学部専門科目	502	1	0.2%	18	9	50.0%
地域協働学部専門科目	17	0	0.0%	0	0	---
土佐さがけプログラム専門科目	84	9	10.7%	170	49	28.8%
全学開設科目	8	1	12.5%	1	0	0.0%
その他	14	8	57.1%	287	126	43.9%
大学院科目	2477	2	0.1%	23	23	100.0%
eK4単位互換科目	1	1	100.0%	9	6	66.7%
高知大学 学内用	3	1	33.3%	115	115	100.0%
オープンコンテンツ	6	4	66.7%	121	110	90.9%
合計	6018	51	0.8%	2088	1370	65.6%

\* moodle準備科目数:moodle上にコース登録された科目数。シラバスに掲載された全ての科目に加え、各部局等からの要請で追加した科目を含む。

\* moodle 利用科目数:実際に公開されたコース数。

\* 利用科目への登録ユーザ数:公開された科目に登録されたユーザ数。(教職員・学生の区別なし)

\* 科目にアクセスしたユーザ数:moodle にログイン後、各リソースに対してなんらかの操作を行ったことのあるユーザ数。

## 結果

moodleを利用する科目の割合は低い状況です。共通教育科目の科目区分が変わったり、各学部の改組等があり、部局ごとには単純に比較はできませんが、合計科目数で51科目から84科目、比率で0.8%から1.3%に伸びています。また利用者数(科目にアクセスした利用者数)も1370名から2932名に増え、科目利用率が50%程度伸びただけで2倍以上に増えています。登録ユーザの利用率も65.6%から、71.5%に伸びています。moodle利用率は着実に伸びているようです。

利用者の多い部局や増加した部局としては、たとえば理学部は11科目から24科目に倍増しています。農林海洋科学部および農学部では、利用科目数は4科目ですが、ユーザ数は9人から206人と激増しています。医学部でも、科目数が1から4に増え、利用者数は14から446人に激増しています。そのほか利用者数の多いところでは、共通教育科目で6から18科目に増加、366人から604人に増加しています。利用科目数の多い理学部でも、270から643人に増加しています。2015年に利用科目0だった教育学部でも、1科目で利用があり、ユーザも75名が利用しています。土佐さがけプログラムでも、利用科目数が9から11科目に増え、ユーザ数も49から83名に増えています。

## 考察

共通教育科目で利用が増えているのは、情報処理の授業で、動画教材を公開しているため、多くの教員と学生がmoodleの初めての利用をここで体験したことが影響しているかもしれません。また、FD・SDでの利用も少数ですが利用している部局がありますので、そこでmoodleの存在に気付いたり、授業で利用できることを知ったりした教職員も少なからずいると思われます。また、四国国立5大学の行っている知プラ共同実施授業を受講する学生数も大幅に増えており、moodleのことを知って知プラ科目を受講した学生も少なからずいると思われます。

moodleを利用すれば、メディア科目としてフルe-Learning科目化するなどして、対面授業の時間と場所の制約から完全に開放されるし、部分的に利用することもできます。また、対面授業に補完的に使うこともでき、時間外学習に利用するという方法もあります。もっとmoodleを利用することによって得られるメリットを広めていければ、利用率も増やせると思います。そのため、昨年の結果を分析し、利用者への、利用の仕方の調査を実施することが提案されていまして、今後検討したいと思います。

## 2. アクセス状況

表3に2016年度のユーザ種類別の利用率・ログイン回数・アクセス数をまとめました。比較のため、2015年度の結果を表4に示します。

表3 ユーザ種類別の利用率・ログイン回数・アクセス数

2016年度		合計	本学学生	本学教職員	* 連携大学ユーザ
* ユーザ数		14948	10937	3935	76
* ログインしたユーザ数		1880	1482	347	51
利用率		12.60%	13.60%	8.80%	67.10%
* 延べログイン数	1学期	19753	17351	2288	114
	2学期	15152	12584	2155	413
* 延べアクセス数	1学期	410683	339454	68253	2976
	2学期	257348	193581	54374	9393
ログインあたりのアクセス数	1学期	20.8	19.6	29.8	26.1
	2学期	17	15.4	25.2	22.7

表4 ユーザ種類別の利用率・ログイン回数・アクセス数(2015年度)

2015 年度		合計	本学学生	本学教職員	* 連携大学ユーザ
* ユーザ数		12272	8677	3540	55
* ログインしたユーザ数		1010	728	229	53
利用率		8.2%	8.4%	6.5%	96.4%
* 延べログイン数	1学期	10635	9455	1097	83
	2学期	8987	6836	1498	653
* 延べアクセス数	1学期	162498	131189	30423	886
	2学期	175252	98119	64382	12751
ログインあたりのアクセス数	1学期	15.3	13.9	27.7	10.7
	2学期	19.5	14.4	43.0	19.5

ユーザ数:moodle 上に登録されているユーザ数(全学認証 ID の登録数)。

連携大学ユーザ数:本学が知プラe事業として提供している 共同実施科目へ登録している連携大学のユーザ数。

ログインしたユーザ数:全学認証 ID を使ってログインしたことのあるユーザの数。

延べログイン数:全学認証 ID を使ってログインする度にカウントされる数。

延べアクセス数:moodle ログイン後、各リソースに対して何らかの操作を行った数(ページを閲覧する、動画を開く、小テストを受験するなど)。

#### 結果

本学の学生および教職員で、moodleにログインした人は10%前後でした。多くはありませんが、増加はしています。連携大学のユーザは知プラ科目の受講生ですので、利用率は高いです。ただし、登録ユーザ数が増えたため、利用率は昨年よりは低下しています。今後も知プラ科目が増えるので、しばらくの間ユーザ数がどんどん増えて、利用率が見かけ上低下する状況が続くと考えられます。実数を比較すると、学内ユーザでは、ログインユーザ数、ログイン数、アクセス数、ログインあたりのアクセス数も着実に伸びています。2015年2学期の教職員のアクセス数が例外的に高いのは、何かイベントがあったのか、分析が必要です。

#### 考察

知プラ科目受講者である連携大学のユーザは、ログイン数もログイン後のアクセス数も高いが、おそらく本学の学生もフルe-Learning科目受講者は同じ状況であると思われます。ログインユーザ数の割合は少ないものの、ログインしたユーザはなにがしかの活動をしているらしいことも予想されます。たとえば、単にコースに貼り付けられた課題をダウンロードするだけなら、ログイン後の活動はただか数ステップです。コースを開設している利用者に、どのような活動をしているかの調査を行うなどして、活発な利用のヒントが得られるかもしれません。今後検討したいと思います。

以上(文責 立川 明)